
IS (元) 厨二病の転生者

厨二 病 (ちゅうに やまい)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS (元) 厨二病の転生者

【Nコード】

N0707Z

【作者名】

ちゅうに やまい
厨二病

【あらすじ】

厨二病の主人公は生前に願った通りにチートスペックを貰って転生した。……畜生、何を願ったんだ俺は、なんで今は全然厨二のテンションとか皆無なんだ。しかも弟達の方がチートじゃん。

これは『IS インフィニット・ストラトス』の二次創作小説です。拙い文章な上、誤字脱字が激しいと思われるので、ご指摘とかよろしく御願います。

プロローグだよ

暗い、眼を開けても光が無いから何も見えない。

大体ここ何処だよ。何だこの空間、立ってる感覚はないが別に寝てる感じもしない。なんと言うかこう、水の中に沈んでいるというか、宙に浮かんでいるような感じた。まあ、宙に浮かんだ事無いけど。

とかなんとか考えてたら向こうの方が明るくなって来た。正確には右上前方の方が。

おや、何か話し声が聞こえるねえ、ばあさんや、ちょっと行って見ようかいな。まあここには俺以外誰も居ないっぽいけど。じゃあばあさんって誰だよとかいわないの、そこ。

そんなこんなで光の方向に近付くと、何やら妖しげなエロいおねーちゃんがいた。てか、あのおねーちゃんオッパイヤベーなオイ。よし、あっちに行ってみよう。

「はい、いどうもお姉さん、俺と一緒に花茶でもしない？」

「はい、アホ一丁釣れましたー」

アホ呼ばわりされちまった、悲しい悲しい。

「さて、おぬしに一つ言っておく事があるのだがな」

「なにに？ おねーさんのスリーサイズ？」

「殺すぞ？」

「割とごめんなさい」

殺されるのはイヤだな。どういふ感覚かは分からんが。

「ま、実はおぬしもう既に死んでおるんだがの」

「そーですかー」

「驚かんの？」

「割と」

だって信じられないし。

「そこまで言うならおぬしが死んだ所を見せてやろうかの」

「おい、俺なんも言ってるねーぞ」

何だこの人、読心術でも身につけているのか。

「まあ妾神様じゃし」

「あ、そうなんだ」

「ほれ、もっと妾を敬わんか。妾は神様であるぞ」

「どっからどう見ても淫魔にしか見えない俺が間違ってるんですかね？」

「ギク！……ま、間違っておるわ、そのような認識は」

「あ、そうですか。分かりました」

取り敢えず俺はこの人を信用しない事にしよう。

「ま、まあともあれ、これがおぬしが死んだ所じゃ」

おねーさんがそう言った途端に目の前に映像が見える。うわ何この感覚気持ち悪い。

……うわあ、何この死に方。なんかいきなり窓から飛び出したと思ったらイタい事言ってる死んだよ。この死に方なんて言うの？ イタ死？ イタ死とでも名付ける？

「そしてイタ死したおぬしは死ぬ寸前にある事を願った」
心読んでんじゃねーよビッチ。

「消すぞ？ おぬしの魂ごと消すぞ？」

「どーもまことにあいすいませんでしたー」

「……」

「私めが悪うございました、お願いですからどうかその手の波動のような物をおさめてください」

「なら妾の話の腰を折るでない」

「いえっさ」

さて、そろそろ真面目に聞か。俺今かなり危ない状況みたいだし。

「おぬしは死ぬ寸前に『転生したい』と願っておったのだ」

「分かりました、ちよつと首括ってきます」

「消すぞ？」

「寧ろ消してください」

「ならばおぬしは絶対に消さん、絶対に」

畜生っ！ この展開はアレだよ、絶対に「転生しろ」とかいう奴だよこれ。割とマジで何やってたんだ生前の俺。

「しかも随所に妾が与えるチートスペック付きじや」

「じゃ、流産して生まれた直後に死ぬチートだけ下さい」

「そうはいく物か。こんなに面白い事は久々じゃ、妾が楽しめるオモチャを減らすなど言語道断じゃ！」

「オモチャ呼ばわりしちゃったよ! ……とにかく、チートスペックはいらんからさっさと平穏な人生にしがれ」

「おぬしが生前に願ったスペックは

「聞けよ！俺今そういうの全くいらないうって言ったじゃん！なんでそんなもん付けようとすんのさ！」

「じゃな。ん？何か言ったかえ？」

畜生自分が美人だからって調子に乗りやがって！

「ま、安心せい。おぬしは生まれる家柄も、容姿も、家族構成も恵まれるようになるから」

「あ、そーなの？
だったらいいや」

良い所では平穩に暮らせるさ。だったらまあ、良いんじゃないかなあ、結局チートの内容聞いてねーや。ま、いいか。何とかなるよな。……よな？

「じゃ、取り敢えず逝ってこい」

「いや、今の行くの言い間違いだよね？ あとその上の方から吊られてる紐は何かかな？」

ぐ
い
っ
！

ガ
パ
ッ
！

[illegible]

「ほっほっほ、この世界に置ける「邪神」の称号を持つ妾のオモチ
ヤになれた事を光栄に思えよお、小僧？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0707z/>

IS （元）厨二病の転生者

2011年12月2日19時47分発行